

大綱 4 市民力・にぎわい・活力											
施策 41 市民力・地域力											
実施施策 411 市民活動団体等の活性化											
創生		評価部局： 市民自治部				関連部局： 総合政策部					
実施施策の目標		地域内で活動する市民、事業者、各種団体などの多様な主体が参画する地域自治組織における地域ビジョン等を踏まえた主体的なまちづくり活動を支援する。 地域活動において中心的な役割を担う自治会への加入率を向上させることや、地域自治組織に対して地域総括交付金を交付し、地域の実情に応じた活動を展開いただくことで、より一層、地域コミュニティの基盤強化を図る。 また、市民活動団体等が地域活動や交流の拠点として活用している共同利用施設等を、より有効に活用いただくとともに、そのあり方について、地域組織の参画のもと検討する。 市民活動に対する全般的な支援を行っている市民まちづくりプラザにおいては、市民活動団体等と連携を深めながら、団体間のネットワークづくりの推進など、様々なまちづくり活動を支援することにより、市民活動の活性化を図る。 これらの取り組みを基本とし、地域と市が連携していくことで、地域課題の解決に市民力・地域力が更に発揮されることを目指す。									
令和6年度の計画		地域自治組織における地域活動の担い手不足などの地域課題の解決や、地域の活性化等、地域ビジョンに基づく活動に対して、地域総括交付金を交付し支援する。 地域自治組織や自治会が行う活動に対して、市から情報提供や助言等を行うなど、それぞれの連携を強化しながら、スムーズに活動が実施できるよう支援する。特に、地域活動における大きな課題の一つである担い手不足の解消に向け、様々な世代や立場の方が地域活動に参画しやすい環境を整えていくことを目指し、電子回覧の取組など先進事例の共有やそれぞれの地域の実情に応じた講座開催の支援など、地域自治組織のデジタル化支援を継続する。 地域活動や交流の拠点である共同利用施設等について、指定管理者等と連携を密にし、地域のニーズも捉えながらより有効に活用できるよう支援する。 市民まちづくりプラザにおいて市民活動団体等のニーズに沿った講座を展開するとともに、活動内容や資金確保等への助言、団体同士の交流促進に取り組むことにより、団体間のネットワークづくりを促進し、市民活動の活性化を目指す。									
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	地域ビジョン策定やデジタル化の支援、テーマ型団体と地縁型団体の連携を促進する等、地域のニーズを捉えながら柔軟に施策を実施し、市民活動の活性化を進めることができた。							
成果		地域自治組織に対し、地域総括交付金の交付及び活用方法の助言などの支援を行うことで、地域コミュニティの基盤強化を推進した。また、デジタル化に関して、自治会の電子回覧を開始するとともに、地域自治組織等の活動拠点となる共同利用施設等に整備したWi-Fi環境活用支援、伊丹市自治会連合会と協働した研修会の開催など、地域のニーズを踏まえながら必要な支援を行い、地域自治組織等のデジタル化を推進した。 共同利用施設等について指定管理者等と連携しながら、地域活動や交流の拠点として効果的に活用いただくとともに、いたみ交流センターの整備を進めるなど、地域組織の参画のもと、施設の今後のあり方について検討を行った。 市民まちづくりプラザにおいて、様々な講座や相談等を通じて市民活動を多方面から支援し、参画と協働によるまちづくりを推進した。昨年から引き続き、団体同士の交流促進を図る「まちプラ交流カフェ」や地域活動のデジタル化や情報発信を推進する講座を定期的に開催するなど、市民活動団体等のニーズに対応した活動支援を行った。									
課題		地域活動においては、担い手不足の解消や役員の負担軽減のための一つ的手段として、デジタル技術を活用した新しい方法での活動が求められているが、地域ごとにその実績や機運の高まりに差があるため、それぞれの地域の状況に応じたきめ細かな支援が必要である。 また、地域自治組織等の活動について、中心となり様々な役割を担っている自治会を含め、多様な団体や立場の方が参画し協働が進むよう支援が必要である。 加えて、更なる市民活動の活性化を図るため、市民まちづくりプラザの管理運営を担う中間支援組織と連携し、市民活動団体等のニーズに対応しつつ、団体間のネットワーク形成や、市民活動団体等の活動を継続的に支援することが必要である。									
令和7年度での対策・対応		引き続き、地域自治組織において、地域の実情に応じて課題解決に向けた活動を展開していただけるよう、地域総括交付金の交付及びその活用方法についての助言など支援を行う。 また、担い手の負担軽減や誰もが参加しやすい地域活動を目指して、拠点施設に整備したWi-Fiの活用方法の助言等支援を行い、地域自治組織等のデジタル化を推進する。 市民まちづくりプラザにおいては、市民活動団体等のニーズに沿った講座の実施や、団体同士の交流促進、活動への助言や広報支援等を通じて、市民活動の活性化に取り組む。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度	R3	R4	R5	R6
	①	自治会加入率(%)	↑	自治会の加入率<加入世帯/世帯数>		目標	R元	59	60	60	61
						実績	59	58	56	54	52
	②	地域総括交付金交付団体数	↑	地域ビジョン策定が完了し地域総括交付金が交付された地域自治組織の数		目標		11	14	15	16
						実績	4	11	12	14	14
	③	共同利用施設等利用人数(人)	↑	利用者人数(R3からは、新型コロナウイルス感染症による影響を加味)		目標		333,600	334,100	334,600	335,100
						実績	400,322	229,033	301,714	342,186	341,941
	④	まちづくりプラザ新規登録団体数	↑	まちづくりプラザ新規登録団体数(R元に関しては開館期間3ヶ月間のみの実績数値)		目標		12	12	12	12
実績						3	13	17	13	16	

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
411013	地域自治推進事業	○	61,606	26,335	62,778	28,269	02	01	07	まちづくり推進課
411020	共同利用施設等管理運営事業	○	66,523	10,194	69,432	11,855	02	01	14	まちづくり推進課
411032	共同利用施設等整備保全事業	○	42,902	8,325	41,814	9,393	02	01	14	まちづくり推進課
411040	姉妹都市交流事業		271	1,869	319	2,918	02	01	07	まちづくり推進課
411052	地域活動拠点整備事業	○	168,083	15,291	406,227	15,502	02	01	14	まちづくり推進課
411060	つつじ賞事業		79	680	207	1,003	02	01	01	秘書課
411070	市民まちづくりプラザ事業	○	7,490	8,920	7,555	7,751	02	01	07	まちづくり推進課
事業費合計(千円)			R5		R6					
			346,954		588,332					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 42 都市ブランド			
実施施策 421 都市ブランド戦略の推進			
創生		評価部局： 総合政策部	関連部局： 都市活力部

実施施策の目標	本市への移住・定住促進を目的とし、本市に「訪れたい」「住みたい」「住み続けたい」と思ってもらうために観光スポットやイベント情報をはじめ、安全・安心なまちづくりや子育て施策、交通の利便性や買い物至便など暮らしやすい住環境など、本市の魅力をマスメディアやインターネットなど多様な媒体を活用して効果的にPRする。 また多方面で活躍している伊丹大使や、民間企業等と連携するなど、官民連携を図りながら広くシティプロモーションを実施する。		
令和6年度の計画	「清酒発祥の地伊丹」及び「日本遺産」について、京阪神エリア在住者を対象に、PRイベントの実施やSNS等を活用した情報発信を行い、シニア層だけではなく、若年層への更なる認知度向上を図る。また阪神間日本遺産推進協議会としては、誘客及び周遊事業を展開し、域内で開催されるイベントへの参画を通じ、日本遺産のPRを実施する。 また、引き続きWebサイトやSNSの活用、伊丹大使や民間事業者との連携を通じて本市の魅力を多方面からPRする。		
令和6年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	観光入込客数は目標に達成しなかったが、観光物産ギャラリーの来場者数及び販売額は目標を達成した。官民連携事業として、伊丹市PR冊子の発行やインターネットを活用した広告などの効果的な情報発信を実施した。
成果	日本遺産については、伊丹まちなかバルに併せたイベントの開催や空港等でのイベントでのPRに加え、Webサイトや観光パンフレットなど「日本遺産」及び「清酒発祥の地 伊丹」のPRツールを制作・情報発信することで、認知度向上に繋がった。また市内小学校での日本遺産に関する出前講座を通じ、地域への「愛着」「誇り」の醸成を図った。 官民連携により伊丹市PR冊子を発行したほか、伊丹大使を活用したイベント等についてSNS・シティプロモーションサイトに掲載し、さらにターゲットへの効果的な訴求のためのGoogleリスティング広告・LINE広告を実施したことで同サイト閲覧数は年間5万回を超えるなど、本市の魅力を多方面へPRすることができた。		
課題	シティプロモーションサイトの前回リニューアルから年月が経過しているため、ユーザーを飽きさせず再訪につながるデザインリニューアルや掲載内容についての検討が必要。		
令和7年度での対策・対応	清酒発祥の地伊丹について、PRイベントの実施やSNS等を活用した情報発信に加え、小学校での出前講座を通じて更なる認知度向上を図る。また地理的表示(GI伊丹)並びにユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的造り」のPRについても、酒造会社のみならず他の機関と連携し実施する。日本遺産については、イベントへの参画の他、阪神間日本遺産推進協議会のSNSやWebサイトを活用した情報発信や周遊事業を展開し、PRを実施する。また令和8年度の継続審査に向け地域活性化計画を策定する。 本市の魅力発信については、引き続きウェブやSNSの活用、伊丹大使や民間事業者との連携を通じて多方面からPRする。		

成果指標	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	-	基準年度	R3	R4	R5	R6
					R元				
①	観光物産ギャラリー来場者数(人)	↑	観光物産ギャラリーにおける来場・案内者数	目標		35,300	39,200	39,400	39,600
				実績	39,282	30,059	39,002	42,542	43,088
	観光物産ギャラリー販売額(千円)	↑	観光物産ギャラリーにおける販売額	目標		18,300	22,800	23,000	23,200
				実績	22,879	19,199	28,299	31,241	30,864
	③ 転入超過数(人)	↑	住民基本台帳における転入超過数(累積)	目標		300	600	900	1,200
				実績	342	※126	※147	※266	-316
④	観光入込客数(千人)	↑	市内観光地への観光入込客数	目標		3,100	3,100	3,100	3,100
				実績	2,738	1,931	2,498	2,365	2,510
⑤	シティプロモーションコンテンツ閲覧数(千回)	↑	※伊丹市シティプロモーションコンテンツ表示回数	目標		48	48	48	48
				実績	34	50	58	46	52
⑥	Visit ITAMI投稿数(回)	=	Visit ITAMIの年間投稿回数	目標		24	24	24	24
				実績	59	19	12	25	26

事務事業コード	事務事業名	主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
421010	イベント等推進事業		598	11,044	510	11,399	02	01	06	空港・にぎわい課
421023	シティプロモーション推進事業	○	4,665	22,937	7,301	28,269	02	01	06	広報・シティプロモーション戦略課/空港・にぎわい課
421030	観光物産ギャラリー管理運営事業		17,799	4,248	18,580	3,648	07	01	03	空港・にぎわい課
421040	阪神北地域インフォメーション事業		200	5,522	200	4,560	07	01	03	空港・にぎわい課
421052	いたみ花火大会事業		34,609	11,468	35,846	12,311	07	01	03	空港・にぎわい課
421062	TSU・NA・GUIいたみGoToキャンペーン事業		-	-	-	-	07	01	03	空港・にぎわい課/文化振興課

事業費合計(千円)	R5	R6
	57,871	62,437

※令和6年度行政評価報告書にて訂正

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 42 都市ブランド			
実施施策 422 中心市街地のにぎわい創出			
創生		評価部局: 都市活力部	関連部局: —

実施施策の目標		市民がまちの魅力を実感し、愛着や誇りを持てるよう市民や商業者、関係団体と連携・協力して伊丹らしいイベントを実施することにより、にぎわいと活力のあるまちづくりを進める。また、市民とともに体験し共感する中で、市外の方には「住みたい」、市内の方には「住み続けたい」と思って頂けるようなまちづくりに取り組む。 そのために、これまでの歴史資源や観光資源、集積された都市機能、市民や商業者を始めとする関係機関とのネットワークを活用し、利便性に優れた、歩いて楽しい、歩いて暮らせる、質の高い中心市街地のまちづくりを進める。 特に、現状のコロナ禍においても感染症拡大防止策を講じ「新しい生活様式」に対応する中で、市民・事業者等を中心とした「伊丹まちなかバル」に代表されるにぎわい創出イベントの支援や、市民の活発な文化・芸術・まちづくり活動の支援、文化施設と周辺店舗との連携事業の支援などを通じ、活性化事業を推進する。									
令和6年度の計画		第3期伊丹市中心市街地活性化基本計画に基づき、市民・商業者・まちづくり会社・商工会議所等多様な主体と連携し「伊丹まちなかバル」や「イタミ朝マルシェ」に代表される各種にぎわい創出事業の支援を行う。また、「エリアマネジメント事業」を通じて、道路等公共空間の利活用の推進、並びに新規出店希望者と地権者が繋がる体制の構築を支援し、遊休不動産の活用並びに中心市街地のにぎわい創出を推進する。									
令和6年度事後評価	☆☆	評価の理由	三軒寺前広場でのイベント開催数に関しては、目標を上回るイベントが開催されまちの魅力・にぎわいづくりに寄与することができた。一方、文化施設等利用者数と中心市街地の流動人口については、いずれも昨年度より増加しているものの目標には及ばなかった。								
成果		にぎわい創出事業に関して、伊丹まちなかバルにおいて初めての試みとなる平日4日間も含めた5日間開催という形で実施し、イベント開催日以外の恒常的なにぎわい創出に繋げることができた。また、市立伊丹ミュージアムでは、市内の民間事業者や団体が様々なものを展示、飲食物の販売を行う連携事業「郷町〇店」の開催回数が令和5年の60回から106回と大幅に増えるなど、にぎわい創出の取り組みを多数実施することができた。									
課題		イベント開催日以外の恒常的なにぎわいの創出及び魅力のある店舗が連続する商業空間の創出並びに人口減少に備えた都市機能の維持が必要である									
令和7年度での対策・対応		恒常的なにぎわい創出を図るため、文化施設等との連携事業を推進するとともに、主に公共空間を活用し官民が連携してエリアごとの価値を向上させるエリアマネジメント促進事業を支援する。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	文化施設等利用者数(人)	↑	文化施設等8施設(文化・演劇・音楽・美術・工芸・郷町・柿衛・こは蔵)の利用者数(アウトリーチ事業の参加者数含む)	目標		767,900	891,900	901,900	911,900	
					実績	890,863	526,956	798,519	743,409	826,950	
	②	三軒寺前広場でのイベント開催数(種類)	↑	三軒寺前広場で実施されたイベントの種類	目標		20	20	21	21	
					実績	19	14	24	26	22	
	③	中心市街地平均来街者数(休日通行量)(人)	↑	例年10月に実施している休日通行量(歩行者・自転車)調査の1調査地点当りの平均値	目標		6,590				
					実績	8,238	7,050				
	④	中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口(4エリア合計)	↑	中心市街地の4エリアにおいて一定時間滞在する住民と来訪者の延べ人数(流動人口)を毎年度末に「DS.INSIGHT」で計測する	目標		102,000	112,200	123,420	135,760	
実績					168,064	99,190	96,918	104,460	111,775		
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円) 事業費 人件費		R6(千円) 事業費 人件費		款項目		担当課
422013	中心市街地活性化事業				3,098	7,646	3,098	7,751	07 01 02	空港・にぎわい課	
事業費合計(千円)					R5 3,098		R6 3,098				

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 43 歴史・文化	
実施施策 431 文化財・郷土資料の保護と活用	
評価部局: 都市活力部	関連部局: ー

実施施策の目標		所有者等のご協力のもと、修史等専門委員会との連携により、現地調査や資料研究に取り組み、その成果を報告することとで、本市の幅広く深い歴史を発信していく。 郷土にゆかりのある歴史・民俗資料を収集・保管・展示するため、調査・研究に取り組むとともに、市民からのレファレンスに対応し、主体的な学びの醸成を図る。 市内の文化財保護団体との協働により、文化財の適切な保護・活用と市民啓発に取り組み、郷土に対する理解や愛着を深める。										
令和6年度の計画		『伊丹市史料集15』(令和8年度発刊予定)を刊行するため旧村等の調査・研究を引き続き行う。市民(伊丹博物館友の会)と共同で市内寺院の調査を実施し、その成果を『地域研究いたみ』(令和7年度以降発刊分)で報告し、市立伊丹ミュージアム歴史展示室での展示に順次活用する。文化財保護法第93条届出の事務および発掘調査に迅速に対応し、調査成果は逐次、現地説明会・講演会の開催や埋蔵文化財センターでの展示により埋蔵文化財の活用につなげる。										
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	『史料集15』発刊に向けた郷土の歴史資料の調査研究を行い、市民との共同による市内寺院調査を実施した。また、文化財保護関係団体会員数は前年度を下回ったが、事業参加者数は前年度を上回った。過去の発掘調査の成果等を再検討して報告書を刊行したほか、説明板の更新を行った。								
成果		郷土の歴史資料の調査研究の成果を活用した展示事業を伊丹ミュージアムで行い、市内寺院調査では3件の寺院について住職や関係者からの聞き取り調査を行った。また、文化財保護法第93条に基づく発掘調査を迅速かつ適切に実施(記録保存)するとともに、調査研究の成果を埋蔵文化財センター等での展示や講座に活用し、報告書を刊行したほか、文化財保護団体と連携して指定文化財の管理・保護を行い、活用・周知に努めた。										
課題		郷土の歴史資料の継続的な調査を確保するとともに、市内寺院調査を共同で実施する市民団体(伊丹博物館友の会)が高齢化していることを踏まえ、調査の円滑な実施を目指す。また、発掘調査を要する民間開発事業が続く中、事業を停滞させないよう事業者側との協議を丁寧に進めることが求められる。										
令和7年度での対策・対応		『史料集15』の令和8年度発刊に向けて旧村等の調査・研究を行うとともに、市内寺院調査を継続して実施し、令和6年度調査の成果を『地域研究いたみ』で報告する。また、文化財保護法に基づく発掘調査を停滞させることなく実施し、過去の調査成果を含めて調査研究を進め、市内文化財保護団体と連携して文化財啓発事業を行う中で市内遺跡に関する新しい知見を紹介する等、市民の関心と愛着が深まるような取り組みを行う。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度		R3	R4	R5	R6
	①	文化財保護関係団体会員総数(人)	↑	文化財保護関係団体の会員・団員の合計	目標	R元		1,330	1,335	1,340	1,345	
					実績	1,332	1,280	1,105	1,058	1,031		
	②	歴史民俗・文化財関連事業の参加者数(人)	↑	文化財担当主催・共催、関係団体主催の事業参加者数	目標			6,980	6,985	6,990	6,995	
実績					6,984	3,130	4,018	3,538	3,979			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
431010	博物館管理運営事業				-	-	-	-	10	07	05	文化振興課
431020	博物館事業活動推進事業				-	-	-	-	10	07	05	文化振興課
431032	博物館機能移転事業				-	-	-	-	10	07	05	文化振興課
431040	資料修史事業				7,398	6,796	7,906	7,295	02	01	07	文化振興課
431062	伊丹廃寺史跡等買上げ事業				-	-	0	365	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
431080	文化財管理事業				5,671	4,672	15,095	5,927	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
431090	埋蔵文化財保存事業				21,295	9,345	20,425	10,852	02	01	08	文化振興課(文化財担当)
431100	文化財保護活用事業				788	1,869	879	5,836	02	01	08	文化振興課(文化財担当)

事業費合計(千円)	R5	R6
	35,152	44,305

大綱 4 市民力・にぎわい・活力 施策 43 歴史・文化 実施施策 432 芸術・文化活動の促進 創生 評価部局： 都市活力部 関連部局： 総合政策部											
実施施策の目標		本市の「文化振興施策にかかる指針」の基本理念「文化芸術がそばにあるまち」に基づき、文化資源を活用し、まちの魅力を高めるため、学校や地域と連携したアウトリーチ事業を実施するなど世代間の交流を図り、若年層を始めとする誰もが身近に文化芸術に触れ合える心豊かな社会の実現を目指す。 また、コロナ禍で行った動画配信など新しい手法を用いた事業を展開するなど文化施策の更なる推進を図る。 市内文化施設では、市民や団体が自らの文化芸術活動を表現できる場として、地域や世代にとらわれることのない多種多様な事業を実施する。 また、市内文化施設が人や店舗、情報が集まる中心市街地に立地している好条件を踏まえ、施設を個々の単位ではなくエリアとして捉え、他施設や周辺店舗等も含めた回遊性のある事業や関係者の連携を強化し、都市の魅力創出や活性化、観光振興にも繋がる事業を展開する。									
令和6年度の計画		新型コロナの影響や人口減少等による社会情勢の変化を踏まえ、令和5年度に実施した文化に関する市民意識調査等を基礎資料として、本市が目指す文化振興施策の方向性を示す「伊丹市文化振興ビジョン」を策定する。文化施設の改修や設備の更新を行い、施設の安全で快適な利用環境を維持するとともに、文化3館（文化会館、音楽ホール、演劇ホール）のあり方について最終報告を行い、文化3館の再整備の方向性を定める。伊丹ミュージアムは、引き続き魅力ある企画展や関連講座、イベントを実施するとともに、市内他施設や民間事業者との連携を継続してまちのにぎわい創出を図るほか、伊丹デジタルミュージアムを活用してさらなる魅力向上を図る。その他、団体への助言等による活動支援を継続し、市民が文化・芸術に気軽に触れられる機会を創出する。									
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	文化施設利用者数はコロナ禍を経て大きく落ち込んだものの、現在では回復傾向にある。令和6年度は目標を下回ったが、前年度を大きく上回った。若者向け事業の参加入場者数は前年度比で減となったが、目標を引き続き上回った。伊丹市文化振興ビジョンを策定したほか、文化施設の安全で快適な利用環境の維持に必要な改修・設備更新を行った。							
成果		文化振興ビジョン策定懇話会や市民ワークショップを開催し、パブリックコメントを経て、令和6年10月に「伊丹市文化振興ビジョン」を策定した。文化3館のあり方について最終報告を行い、演劇ホールの廃止を含む「文化3館再配置事業実施方針」を令和7年1月に策定して、文化会館・音楽ホールの大規模改修の方向性と中長期の工程を定めた。伊丹ミュージアムは、魅力ある企画展や民間事業者と連携したイベント等を多数実施し、まちのにぎわい創出に寄与した。									
課題		文化会館と音楽ホールの大規模改修にあたって、文化会館における演劇事業の機能受入れのための整備をはじめ、両館について今日的ニーズに対応した改修内容の検討が必要である。令和8年度以降の演劇事業の展開について、市内施設及びいたみ文化・スポーツ財団と連携しながら方向性を示すことが求められる。									
令和7年度での対策・対応		伊丹市文化振興ビジョンの実装に向けて、文化施設の指定管理者であるいたみ文化・スポーツ財団と連携し、成果指標の達成に寄与する取組を進める。文化会館と音楽ホールの大規模改修に向けて、音楽ホールの特定天井改修工法検討のための基本設計を行い、改修内容に関する検討を継続する。演劇事業の展開について検討を進めるほか、市民の文化芸術活動の活性化に取り組んでいく。									
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元	R3	R4	R5	R6
	①	文化施設利用者数(人)	↑	文化施設(文化・演劇・音楽・美術・工芸・郷町・柿衛)の利用者数(アウトリーチ事業の参加者数含む)		目標		406,000	530,000	540,000	550,000
						実績	528,888	233,461	507,248	430,323	486,961
	②	若者(小・中・高校生)向けの公演事業・講座等の参加入場者数(人)	↑	若者向け公演・講座等の入場者数		目標		8,800	22,000	23,000	23,500
						実績	18,468	7,214	92,710	34,443	28,584
	③	文化団体イベントへの来場者数(人)	↑	文化団体(茶道・いけばな・芸協・コーラス・シティフィル・市吹・市吹連)の主催による主なイベントへの来場者数		目標		22,000	23,000	24,000	25,000
						実績	21,891	6,002	12,643	15,027	14,742
	④	共催・後援件数(件)	↑	市民団体の文化事業を支援した件数		目標		66	67	68	70
						実績	65	35	42	58	58
	⑤	文化団体会員数(人)	↑	文化団体(茶道・いけばな・芸協・コーラス・シティフィル・合唱団・市吹・伊丹太鼓)の会員数		目標		1,270	1,280	1,290	1,300
実績						1,266	1,036	1,017	992	987	
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目		担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費			
432010	文化会館管理運営事業			○	185,500	4,248	198,575	4,560	02 01 07	文化振興課	
432020	演劇ホール管理運営事業			○	60,438	4,248	63,718	3,648	02 01 07	文化振興課	
432030	音楽ホール管理運営事業			○	87,842	4,248	89,086	4,560	02 01 07	文化振興課	
432042	みやのまえ文化の郷再整備事業				-	-	-	-	02 01 07	文化振興課	
432050	伊丹ミュージアム管理運営事業<名称変更前「みやのまえ文化の郷管理運営事業」>			○	266,744	5,947	258,402	5,015	02 01 07	文化振興課	
432060	文化・スポーツ財団運営補助事業			○	86,838	4,248	74,563	6,839	02 01 07	文化振興課	
432070	柿衛文庫運営補助事業				-	-	-	-	02 01 07	文化振興課	

事務事業 コード	事務事業名	主 要 事 業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
432082	文化施設整備保全事業	○	69,388	6,796	29,674	8,207	02	01	07	文化振興課
432090	芸術文化振興事業	○	4,525	8,495	1,741	9,119	02	01	07	文化振興課
432100	文化団体補助事業		8,209	5,947	7,801	4,560	02	01	07	文化振興課
432110	鴻臚館管理運営事業		2,668	680	2,189	730	02	01	05	秘書課

事業費合計(千円)	R5	R6
	772,152	725,749

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 44 商工業			
実施施策 441 商店街の活性化			
評価部局： 都市活力部		関連部局： ー	

実施施策の目標		現在、本市には17の商店街等が存在している。これらの商店街等は様々な業種の事業者によって組織されているが、そのほとんどが小規模企業者であり、大規模店舗等の進出により、個々の事業者は厳しい経営環境におかれている。 そこで、各商店街等では、加盟事業者が協力し合い、それぞれに特色のあるイベント等を実施しており、地域住民の商店街等の利用促進を図るとともに、生活の利便性向上に取り組んでいる。 これらの商店街等の魅力向上につながるイベント活動を支援することで、地域産業の活性化や市民生活を支える小売店の経営安定化を図ることを目指す。										
令和6年度の計画		昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、イベント活動等の社会経済活動が再開されたことから、商店街等における賑わいも戻りつつある。本年度も昨年度に引き続き、商店街等が主体となって実施するイベント事業(活性化等事業)について、商店街等活性化補助制度を活用することで、売上増加や顧客獲得による商店街の賑わいにつなげ、更なる地域産業の活性化や小規模企業者の経営安定化を図る。 また、市内商店街組織と、イオン等の大店舗との共同イベントを促進する。										
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	商店街等が実施する活性化イベントを支援することで、組織力の強化を図るとともに、消費喚起と地域商業の活性化に繋げることができたため。								
成果		11商店街等17件のイベント事業(活性化等事業)に対し補助を行うことで、地域商業の活性化支援を図ることができた。										
課題		イベント未実施の商店街等に対し、市の支援制度や他商店街組織の事業を共有して、引き続き実施を促す。										
令和7年度での対策・対応		現在18ある商店街等に対して、改めて市の支援制度を周知し、商店街の維持や活性化に繋げる。 また、新たに立ち上がった商店街等の活動状況を注視しつつイベント実施の支援を行い、新たな地域の商業活性化を図る。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	商店街等活性化イベント事業補助金を活用したイベントの数(件)	↑	商店街等活性化イベント事業補助金を活用したイベントの数	目標			16	16	17	17	
					実績	15	13	13	13	17		
	②	既存商店街等の組織数(団体)	=	既存商店街等の組織数	目標			17	17	17	17	
					実績	17	17	17	17	18		
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
441010	商店街等活性化事業			○	3,318	3,398	2,949	5,015	07	01	02	商工労働課
事業費合計(千円)					R5		R6					
					3,318		2,949					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 44 商工業			
実施施策 442 中小企業等の起業・経営支援			
創生		評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標		既存の市内事業者の経営安定化には、経営に関する知識の習得や、円滑な資金繰りが欠かせない。また、世界的な社会経済情勢の変化を察知し、必要とされている製品・サービスに事業をシフトさせていくためには、絶え間ない情報の収集や、設備投資等による事業変革が必要となる。 一方で、柔軟な発想と俊敏な機動力をもって事業に取り組む新規創業者によって、これからの時代に必要とされる製品・サービスが創出されることが期待されている。このような新規創業者は、資金や関連企業とのネットワーク構築が十分でない場合が想定される。 本市では、各種融資の他、起業や経営に関するセミナー等の開催により、既存事業者や新規創業者を支援することで、地域産業の活性化につなげることを目指す。										
令和6年度の計画		昨年に引き続き、物価高騰等が見込まれる中、創業支援等事業計画に基づき、伊丹商工会議所をはじめとする各支援機関と連携し、市内で創業を希望する者に対して、経営指導員及び市担当者による個別具体的な相談等の支援や、創業及び経営継続に資するセミナーを実施する。加えて、創業支援補助金を活用し、創業時に課題となる創業者の初期経費の負担を軽減することで、経営の安定化や余裕をもった資金繰りに繋げ、市域内での創業者の定着・発展に繋がる支援に取り組む。また、既存の市内創業者の経営状況の把握に努める。										
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	中小企業等への融資実行件数は、本市の融資利率より、兵庫県のコロナ関連融資利率の方がより有利であったため件数がほぼ横ばいだった。								
成果		創業セミナー・講座はSNSやAIの活用等、時代に適した内容を実施するとともに、前年度と同様にコロナ禍で出店が控えられていた飲食店を中心に創業支援補助金の支出件数が増加した。										
課題		長引く物価高騰・円安により市内の様々な業種の事業者で経営環境が安定しない状況が続いている。										
令和7年度での対策・対応		創業支援について、時代やニーズに適したセミナー・講座を実施するとともに、現状の調査・分析を行い、より良い支援の形を検討する。また、中小企業等の経営促進・起業促進に繋がる資金調達をはじめとした各種施策を引き続き実施する。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	中小企業振興融資実行件数(件)	↑	中小企業振興融資実行件数	目標			105	110	115	120	
					実績	100		73	66	35	33	
	②	セミナー・講座参加者数(人)	↑	市・伊丹商工会議所主催のセミナー参加者数	目標			105	110	115	120	
					実績	101		133	147	209	171	
	③	セミナー等受講者満足度(点)	↑	セミナー受講者アンケートの満足度平均値(10点満点)	目標			8	8	9	9	
実績					0		8.7	8.33	8.69	8.76		
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目		担当課	
			事業費		人件費	事業費	人件費					
442011	創業支援事業			○	8,570	3,823	10,238	4,560	07	01	02	商工労働課
442020	中小企業振興融資事業			○	218,974	4,672	185,707	4,560	07	01	02	商工労働課
事業費合計(千円)					R5		R6					
					227,544		195,945					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 44 商工業			
実施施策 443 地域産業の振興と企業活動支援			
創生 評価部局：都市活力部 関連部局：－			

実施施策の目標		社会経済情勢が大きく変化する中、市内産業を継続的に活性化するためには、新たな事業者の進出や、生産性向上に向けた設備投資等の企業活動への支援が必要となる。本市においては、平成29年に企業立地支援条例を改正し、市内における事業所の新設・増設、雇用の創出等を支援するとともに、中小企業等経営強化法に基づく支援策として、中小企業者の先端設備導入の促進を図っている。 また、中小企業者の経営の安定化やネットワークの構築に向け、産業支援と交流の拠点施設である産業振興センターにおいて、各種セミナーや交流会等を実施している。 これら中小企業者を支援する活動を継続することで、市内産業を活性化させ、継続的な発展を目指す。										
令和6年度の計画		エネルギー価格高騰等の影響が続き、市内事業者の経営環境の見通しが不透明な中、積極的な設備投資等を通して労働生産性を向上させ、新たな社会経済環境への適応や経営の更なる安定化を図るため、市内外の企業へ各種制度活用を周知するとともに、製造業をはじめとする事業者に対する奨励金や税の軽減等により支援することで、地域産業の活性化と雇用の創出、及び市内への企業誘致、市内定着の促進を図る。 また、産業振興センターで実施する各種セミナー等については、社会情勢を鑑みた事業経営のあり方を主としつつ、伊丹商工会議所等との連携を図り、より効果的な内容となるよう、またより多くの方に受講いただけるよう取り組む。										
令和6年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	成果指標はいずれも目標に達しなかったが、企業立地支援制度において3件の認定があり、イオン伊丹との包括連携協定に基づく市内事業者との連携事業を通じて、市内事業者への支援を図った。 また、商工会議所への事業補助を通して、市内産業の活性化や継続的な発展に繋がった。									
成果	コロナ禍でこの数年申請が0～1件で推移していた企業立地支援制度の認定については、製造業者3件の計画を認定した。											
課題	長引く物価高騰・円安が企業活動に影響を与えており、企業立地計画や先端設備等導入計画の認定数は目標に対し低調。また、コロナ禍以降会議やセミナーのオンライン化等もあり、産業振興センターの利用者も低調であった(令和3年度・令和4年度はワクチン接種会場として使用)。											
令和7年度での対策・対応	事業者支援施策の周知を継続して実施するとともに、国・県の動向を注視しながら連携して取り組んでいく。また、商工会議所などの関連団体とも連携し、ニーズに合わせた企業支援やセミナー実施に取り組む。											
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	産業振興センター利用人数(人)	↑	産業振興センター利用人数(R元は改修工事で減少)	目標			57,000	58,000	59,000	60,000	
					実績	26,330	155,820	44,855	32,373	32,660		
	②	企業立地計画認定件数(件)	↑	企業立地計画の年間認定件数	目標		3	3	4	4		
					実績	3	0	1	2	3		
	③	先端設備等導入計画認定件数(件)	↑	先端設備等導入計画の認定件数	目標		40	40	40	40		
実績					41	30	21	21	11			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費				
443010	商工会議所補助事業				3,240	1,869	3,240	1,824	07	01	02	商工労働課
443020	産業振興センター管理運営事業			○	53,764	3,823	52,143	3,192	07	01	02	商工労働課
443032	伊丹商工プラザ整備保全事業				78,023	2,973	-	-	07	01	02	商工労働課
443041	産業振興施策推進事業				182,801	8,495	68	2,280	07	01	02	商工労働課
443051	企業立地支援事業			○	72,646	4,672	39,384	4,104	07	01	02	商工労働課
443060	計量法関連事業				545	1,954	796	3,648	07	01	02	商工労働課
事業費合計(千円)					R5		R6					
					391,019		95,631					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 45 都市農業			
実施施策 451 都市農業の基盤強化			
評価部局： 都市活力部		関連部局： ー	

実施施策の目標		都市農業が良好な状態で継続し、多様な機能を発揮し、地域の魅力づくりに貢献することを目指して、以下の施策を展開する。 都市農業の担い手確保のため、認定農業者・認定新規就農者の認定や農業者の知識・技術の向上支援、若手農業者団体の支援などを推進する。 都市農地の保全のため、特定生産緑地制度の普及啓発、農地貸借に係る情報提供や事業認定などにより、生産緑地の維持と活用を推進する。 農業経営の安定のため、農業者の災害や病虫害への対応を支援するとともに、農業保険制度の利用を促進する。 都市農業の普及啓発と多様な機能発揮のため、市民が農作業を体験できる機会の提供や行事の開催、情報発信などにより、都市農業や地域農産物に対する関心を高めるとともに、教育、福祉、行楽、防災などにおける農業の活用を推進する。										
令和6年度の計画		農業者の知識・技術の向上を目的としたセミナーを開催するとともに、県等の公的機関と連携して農業者の経営・技術等に関する指導を行う。 生産緑地制度の普及啓発、農地に関する情報共有、農地貸借に係る事業計画認定などにより、都市農地の保全と活用を推進する。 ウメ輪紋病緊急防除終了に伴い、県と連携して生産再開に対する支援を行う。 市営家庭菜園の運営を継続するとともに、民間の市民農園も含め、市民が農作業を体験できる多様な機会の提供を推進する。 地域の状況に適した農福連携の手法について検討する。 学校給食での市内産農産物の提供に併せて、農業者による食育講話等を推進する。										
令和6年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	・青年等新規就農者を1名認定した。 ・事業計画認定による農地貸借件数および面積が昨年度より増加した。 ・多様な形態の農園により、多くの市民に農の体験を提供できた。 ・防災協力農地の周知により登録件数が昨年度より増加した。									
成果	・青年等新規就農者の認定 1件 ・農地貸借による事業計画の認定 18件(更新含む)											
課題	・技術力向上の支援 ・農地活用の推進 ・民間市民農園の支援 ・農福連携の推進											
令和7年度での対策・対応	・認定農業者、認定新規就農者の認定の推進 ・兵庫県等の公的機関と連携した営農指導、技術講習の推進 ・農地貸借情報等の収集、発信による農地活用の推進 ・ウメ輪紋病緊急防除終了による生産再開に伴う南京桃復興支援事業の実施											
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	認定農業者数および認定新規就農者数(人)	↑	認定農業者数および認定新規就農者数	目標			3	4	5	6	
					実績	2	4	6	6	6		
	②	都市農地貸借法に基づく認定都市農地面積(a)	↑	事業計画認定による年度末時点の農地貸借面積	目標			70	80	90	90	
					実績	55	227	216	228	256		
	③	市民農園数(箇所)	=	市内の市民農園数(市・民間)	目標			37	37	37	37	
実績					35	35	39	39	37			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
451010	都市農業振興推進事業			○	0	2,549	0	2,736	06 01 03	農業政策課		
451020	農地利用促進事業			○	0	3,398	0	3,648	- - -	農業政策課		
451030	農業者育成支援事業				50	1,274	31	1,368	06 01 03	農業政策課		
451040	災害・病虫害対策支援事業				4	1,699	0	1,824	06 01 03	農業政策課		
451050	都市農業普及事業				540	1,274	540	1,368	06 01 03	農業政策課		
451060	農地機能発揮事業			○	7,443	5,522	7,444	5,927	06 01 03	農業政策課		

事業費合計(千円)					R5		R6	
					8,037		8,015	

大綱 4 市民力・にぎわい・活力	
施策 45 都市農業	
実施施策 452 農作物の生産・流通の推進	
評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標		本市における農作物の生産と流通を活性化し、市内農業者の良好な農業経営につなげるとともに、市民に新鮮で魅力的な農産物を供給できるよう、以下の施策を展開する。 農作物の生産性や品質の向上などに取り組む農業者を支援するための補助制度を実施する。 地産地消の推進のため、市内産農産物等に係る情報発信を行うとともに、学校給食や市内飲食店、販売店で市内産農産物の提供を促進する。 市内産農産物の魅力を向上させ、販売を促進するため、ブランド農産物のPRや新たなブランド農産物の開発を支援する。 公設市場における農産物を始めとする食品の流通を活性化する。										
令和6年度の計画		市民や事業者により市内産農産物の魅力を伝え、需要を拡大するため、各種イベントにおいて市内産農産物の普及啓発を推進する。 飲食店、販売店などにおける市内産農産物の提供に関する情報を市民に発信することにより、市内産農産物の活用を推進する。 市民や事業者の農産物に関する要望を収集し、農業者に伝達する。 たみまるブランド農産物(レモン・文旦・干しいも)のPRを支援する。										
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	・市内産農産物を学校給食に昨年度より多く供給することができた。 ・公設市場における指定管理者制度による運営が円滑に実施された。 ・スマイル阪神の販売高が増加した。								
成果		・学校給食への市内産農産物供給量 7品目 12,360kg ・スマイル阪神の販売高 894,994千円										
課題		・販売店、飲食店における市内産農産物利用の推進 ・市内産農産物のブランド化										
令和7年度での対策・対応		・市内産農産物についての普及啓発の推進 ・たみまるブランド農産物(干しいも等)のPRを支援 ・市内産農産物の新たなブランド化の検討										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	農地面積(ha)	＝	市内農地面積の維持(生産緑地+宅地化農地)		目標			115	115	115	115
						実績	115		110	108	104	100
	②	学校給食への市内産農産物供給量(百kg)	↑	学校給食への市内産農産物供給量		目標			64	64	65	65
実績						63		74	88	81	124	
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目		担当課	
					事業費	人件費	事業費	人件費				
452010	農業活性化支援事業			○	4,817	3,823	5,914	4,104	06	01	03	農業政策課
452020	農産物地産地消・販売促進事業			○	0	2,124	0	2,280	-	-	-	農業政策課
452033	伊丹ブランド農産物開拓事業				0	1,699	0	1,824	-	-	-	農業政策課
452040	公設市場管理運営事業			○	2,706	5,097	0	5,471	06	01	03	農業政策課
事業費合計(千円)					R5		R6					
					7,523		5,914					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力			
施策 46 雇用と労働			
実施施策 461 就労支援と勤労者福祉の向上			
創生		評価部局： 都市活力部	関連部局： ー

実施施策の目標	性別や年齢に関わりなく、労働者が安心して働くことができる雇用環境の維持や充実に向け、合同面接会や労働相談などを実施し、就労希望者に寄り添った支援を行い、雇用機会を創出する。 また、公民館、市民まちづくりプラザ、青少年センターとの複合施設になった労働福祉会館を、勤労者福祉の拠点施設として事業展開を図り、勤労者をはじめとする利用者の満足度向上を目指す。		
令和6年度の計画	性別や年齢に関わりなく、労働者が健やかに安心して働くことができる雇用環境の維持や充実に向け、兵庫労働局との雇用対策協定に基づき合同就職面接会や労働相談などを実施するなど、就労希望者に寄り添った支援を行い、雇用機会を創出する。 また、労働福祉会館においては、勤労者福祉の拠点施設として指定管理者制度を活用した事業展開を図り、利用者の満足度向上を目指す。		
令和6年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	目標値には達成しなかった項目はあるものの、若年者や障がい者雇用の支援、また労働相談等を実施し、雇用環境の維持・充実に図ることができた。
成果	障害者雇用奨励金、奨学金返済支援等の若年者就労支援事業、労働相談事業等、各種事業を前年度に引き続き実施し、雇用環境の改善等に取り組んだ。スワンホール利用者数は21万人を超え、老若男女を問わず多くの市民に活用いただくことができた。		
課題	人手不足にかかる多様な労働者の実態把握と、求人者と求職者のミスマッチの解消。		
令和7年度での対策・対応	兵庫労働局（ハローワーク伊丹）やイオンモールと連携し、若年者、生活困窮者、子育て中の女性、障がい者を対象とした各種就労支援策を実施する。		

	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	-	基準年度	R3	R4	R5	R6
					R元				
成果指標	① 若年者就労サポート事業により就職につなげた人数(人)	↑	若年者就労サポート事業に参加して就職した人数	目標		12	13	14	15
				実績	10	8	3	9	4
	② 労働相談実施人数(人)	↑	労働相談を実施した相談者の人数	目標		55	60	65	70
				実績	51	39	48	49	41
	③ 合同就職面接会参加人数(人)	↑	市内企業合同就職面接会の参加人数	目標		40	45	50	55
				実績	38	15	16	119	220
	④ スワンホール年間利用者数(人)	↑	スワンホール年間利用者数(R元は改修工事で減少)	目標		180,000	190,000	200,000	210,000
				実績	29,122	147,159	187,588	191,589	212,927
	⑤ 外国人労働者の雇用に関する情報等の発信回数(回)	↑	外国人労働者の雇用に関する情報等を発信した回数	目標		1	1	2	2
				実績	1	2	1	1	2

事務事業コード	事務事業名	主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課
			事業費	人件費	事業費	人件費				
461010	雇用奨励金給付事業	○	540	1,699	540	2,280	05	01	02	商工労働課
461020	若年者就労支援事業	○	3,685	3,823	10,678	5,015	05	01	02	商工労働課
461030	技能功労者表彰事業		67	2,124	72	2,280	05	01	01	商工労働課
461040	勤労者福利厚生事業補助事業		416	1,614	416	2,280	05	01	02	商工労働課
461050	労働相談事業	○	264	1,359	290	2,280	05	01	01	商工労働課
461060	労働福祉会館管理運営事業	○	58,744	4,672	58,460	3,648	05	01	02	商工労働課
461070	伊丹市中小企業勤労者福祉共済事業		-	-	-	-	05	01	02	商工労働課

事業費合計(千円)	R5	R6
	63,716	70,456

大綱 4 市民力・にぎわい・活力												
施策 47 空港との共生												
実施施策 471 空港周辺の活性化												
創生		評価部局： 都市活力部					関連部局： 都市交通部					
実施施策の目標		国や空港運営権者等の関係機関に対し、空港周辺の安全・環境が引き続き確保されるよう要望するとともに、国際便や長距離国内便の規制緩和などを求め、大阪国際空港の利用者利便の向上を通じた本市の活性化を目指す。 兵庫県、周辺市及び空港運営権者等と連携して、大阪国際空港の利用促進及び本市のPRを目的としたセミナーや空港を活用したイベントを実施する。 空港へのアクセスバスを運行するとともに、当該バスの利用を促進する。 民間活力を導入し、本市の観光資源の一つである伊丹スカイパークの集客力を向上させ、空港周辺地域の活性化を図る。										
令和6年度の計画		大阪国際空港の万全な安全・環境対策の確保及び利用者利便の向上のための国際便や長距離国内便の規制緩和などを国土交通省、関西エアポート株式会社及び新関西国際空港株式会社等に対して要望活動を行う。兵庫県、周辺市及び空港運営権者等と連携して、空港の利用促進及び本市のPRを目的としたセミナーや空港を活用したイベントを実施する。 空港へのアクセスバスの利用啓発をイベント等を通じて行い、当該バスの利用促進を図る。 伊丹スカイパークの更なる魅力向上を図るために、民間の優れたノウハウを活用し来園者の増加を目指す。										
令和6年度事後評価		☆☆☆	評価の理由	国土交通大臣等に対し、大阪国際空港の安全・環境対策や活用について要望活動を行い、安全・環境対策は着実に実施されている。 また、空港の利用促進や本市のPRIに資するイベント等を計画どおりに実施し、空港線バス乗降客数については目標値を上回ることができた。 伊丹スカイパークでは、前年度より年間来園者が増加したが、施策目標を達成できなかった。								
成果		大阪国際空港における安全・環境対策が着実に実施されている。また、令和6年度における本空港の旅客数は、前年度比104%となった。 空港を活用したイベントでのPR活動やJR伊丹駅前の空港アクセスPR看板のリニューアルを行うなど、更なる利用促進を図ることができた。 ビアガーデンやキッチンカーフェスティバル、わんにゃんマーケットなど来園者が楽しめるイベントを実施したことで、伊丹スカイパークを訪れる来園者に対して高い満足度を維持した。										
課題		大阪国際空港は、国際便や長距離国内便の便数が制限されているため、航空需要の変化に柔軟な対応ができず、利用者利便の最大化を図ることができていない。 伊丹スカイパークにおいては、来園者数の増加を図るため、幅広い世代を呼び込むためのイベントの企画・実施が必要。										
令和7年度での対策・対応		空港周辺の安全・環境対策及び空港の利便性向上などについて関係機関へ要望すると同時に、空港利用促進や本市のPRIに資するイベント等を継続して実施する。 空港アクセスバスについては、イベント等を通じて利用啓発を行い、更なる利用促進を図る。 伊丹スカイパークにおいては、民間の優れたノウハウを活用して更なるイベントの充実や中央展望台付近の花壇エリアを拡大し季節の花の充実を図り、来園者数の増加と高い満足度の維持を図る。										
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6
	①	大阪国際空港に関する要望件数(件)	↑	大阪国際空港に関する国土交通省、新関西国際空港株式会社、大阪国際空港運営権者及び航空会社への要望件数	目標			7	7	7	7	
					実績	8	7	7	7	7		
	②	空港線バス乗降客数(千人)	↑	JR伊丹ー大阪国際空港間を結ぶ路線バスのバス停「大阪国際空港」での年間乗降客数	目標			226	283	340	396	
					実績	566	278	352	416	418		
	③	伊丹スカイパーク来園者数(千人)	↑	伊丹スカイパーク年間来園者数	目標			710	730	750	750	
実績					682	642	666	607	623			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課
					事業費	人件費	事業費	人件費				
471010	大阪国際空港利用促進事業				220	4,078	280	5,471	02	01	06	空港・にぎわい課
471020	空港アクセス確保事業				1,703	4,248	1,811	4,560	02	01	06	交通政策課
471030	伊丹スカイパーク管理運営事業			○	19,114	6,796	18,287	7,295	08	03	05	公園課
471042	伊丹スカイパーク整備保全事業			○	-	-	16,227	1,824	08	03	05	公園課
事業費合計(千円)					R5		R6					
					21,037		36,605					

大綱 4 市民力・にぎわい・活力
 施策 47 空港との共生
実施施策 472 空港周辺の生活環境の保全
 評価部局： 都市活力部 関連部局： ー

実施施策の目標	「空港との共生」のために不可欠な大阪国際空港周辺における安全と環境を引き続き確保し、市民の静穏な生活環境を保持することを目指す。 そのために、大阪国際空港や航空全般の情勢を注視しつつ、市内3箇所（西桑津測定局、北村測定局、大野測定局）において常時測定を行なう航空機騒音監視システムによる騒音調査結果をもとに、国や空港運営権者等の関係機関に対し、安全・環境対策に万全を期し、そのために必要な予算及び地方財源を確保するよう、大阪国際空港周辺市及び全国民間空港関係市町村と連携した運動により強力に働きかける。発生源対策をはじめとする騒音対策の不断の努力を促す。 また、大阪国際空港周辺に所在する対象住宅の静穏な生活環境の保持に資するため、民家防音空気調和機器工事に係る住民負担の軽減を図る。												
令和6年度の計画	大阪国際空港周辺都市対策協議会及び全国民間空港関係市町村協議会の事務局として運営を担い、万全の安全・環境対策の実施並びにそのために必要な予算及び地方財源の確保に加え、利用者利便に沿った空港運用及び航空ネットワークの維持・充実に向けた取組がなされるよう要望書を取りまとめ、要望活動やフォーラム・研修会等を実施する。民家防音空気調和機器工事に係る住民負担軽減制度を利用できる対象住宅に対して、適切に制度の案内を行い、住民負担の軽減を図る。												
令和6年度事後評価	☆☆☆	評価の理由	大阪国際空港周辺都市対策協議会及び全国民間空港関係市町村協議会において要望書を取りまとめ、国や関西エアポート(株)等に対し、万全の安全・環境対策の実施等を要望するとともに、伊丹市航空機騒音監視システムの結果を取りまとめた騒音調査年報(暦年)をもとに騒音の現状について報告し、騒音低減に向けて引き続き騒音抑制を講じるよう要望を行った。										
成果	大阪国際空港を発着する航空機の90%以上が低騒音機となるなど、空港周辺の安全・環境対策が着実に実施された。その結果、発着回数はコロナ禍前と同等まで回復しているものの、騒音値はコロナ禍前の令和元年より低減している。												
課題	過去と比較して騒音は低下しており成果指標における基準値に達しているものの、北村測定局、大野測定局において環境省の示す環境基準を達成できていない。												
令和7年度での対策・対応	騒音値の動向を引き続き注視するとともに、航空機騒音低減に向けた関係機関への働きかけを継続する。												
成果指標	指標名(単位)		性質	指標の意味・算式等		-	基準年度 R元		R3	R4	R5	R6	
	①	西桑津測定局の騒音値(Lden)	↓	西桑津測定局の航空機騒音調査結果(年平均)。基準値をR1の実績値(Lden62)とする。	目標			62	62	62	62		
					実績	62	57.8	60	60.6	60.5			
	②	北村測定局の騒音値(Lden)	↓	北村測定局の航空機騒音調査結果(年平均)。基準値をR1の実績値(Lden68)とする。	目標			68	68	68	68		
					実績	68	63.5	66	66.8	66.8			
	③	大野測定局の騒音値(Lden)	↓	大野測定局の航空機騒音調査結果(年平均)。基準値をR1の実績値(Lden61)とする。	目標			61	61	61	61		
					実績	61	57.4	59.3	59.9	59.9			
事務事業コード	事務事業名			主要事業	R5(千円)		R6(千円)		款項目			担当課	
				事業費	人件費	事業費	人件費						
472010	航空機騒音対策事業				1,063	3,228	866	7,295	02	01	13	空港・にぎわい課	
472030	空港周辺都市対策協議会事務				320	7,561	335	11,399	02	01	13	空港・にぎわい課	
事業費合計(千円)					R5		R6						
					1,383		1,201						

大綱4 市民力・にぎわい・活力

411	市民活動団体等の活性化							
411013	地域自治推進事業	まちづくり推進課						
【事業概要・成果】 14の地域自治組織(伊丹・有岡・稲野・摂陽・鈴原・笹原・神津・緑丘・池尻・花里・昆陽里・天神川・荻野・鴻池)へ地域総括交付金を交付することにより、地域コミュニティの基盤強化を推進した。 地域総括交付金や事業に対する補助金の交付等により、地域活動を支援した。 伊丹市自治会連合会と協働して研修会を開催するなど、地域のニーズを踏まえながら必要な支援を行い、地域自治組織等のデジタル化を推進した。								
地域自治組織設立数(累計) <table border="1"> <tr> <th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>15</td><td>15</td><td>16</td></tr> </table>			R4	R5	R6	15	15	16
R4	R5	R6						
15	15	16						
地域ビジョン策定組織数(累計) <table border="1"> <tr> <th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>14</td><td>14</td><td>16</td></tr> </table>			R4	R5	R6	14	14	16
R4	R5	R6						
14	14	16						
地域総括交付金交付組織数(累計) <table border="1"> <tr> <th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>12</td><td>14</td><td>14</td></tr> </table>			R4	R5	R6	12	14	14
R4	R5	R6						
12	14	14						

411020	共同利用施設等管理運営事業	まちづくり推進課					
【事業概要・成果】							
地域のコミュニティ活動の場として、地域で構成される指定管理者と連携し、利用者の利便性及び安全性に配慮しながら、適正に管理運営を行うことで、多数の地域住民が利用し、地域コミュニティの活性化に寄与した。							
種 別	施 設 数	R4		R5		R6	
		利用者数	前年度比	利用者数	前年度比	利用者数	前年度比
1種(80㎡以上120㎡未満)	11	23,337	126.5%	25,739	110.3%	24,449	95.0%
2種(120㎡以上310㎡未満)	28	89,407	127.2%	96,963	108.5%	89,590	92.4%
3種(310㎡以上500㎡未満)	24	147,568	135.5%	152,668	103.5%	150,694	98.7%
4種(500㎡以上)	7	41,402	131.8%	66,816	161.4%	77,208	115.6%
合計	70	301,714	131.7%	342,186	113.4%	341,941	99.9%

411032	共同利用施設等整備保全事業	まちづくり推進課						
【事業概要・成果】 地域コミュニティ活動の拠点施設として、安全かつ快適に利用していただくため、保全計画に基づき、利用者の快適性の向上につながる適切な維持管理のための改修を行った。								
<table><tr><td>改修内容</td><td>センター名</td></tr><tr><td>屋上及び外壁改修工事</td><td>よつばセンター</td></tr><tr><td>空調設備改修工事</td><td>北野センター、中野東センター</td></tr></table>			改修内容	センター名	屋上及び外壁改修工事	よつばセンター	空調設備改修工事	北野センター、中野東センター
改修内容	センター名							
屋上及び外壁改修工事	よつばセンター							
空調設備改修工事	北野センター、中野東センター							

411052	地域活動拠点整備事業(共同利用施設等集約化事業)	まちづくり推進課
【事業概要・成果】 小学校区単位で地域の合意形成を図り、共同利用施設等の集約化を行う。 地域のコミュニティ活動の拠点施設として、伊丹小学校区において、5施設の集約化を行い、いたみ交流センターを整備した。 南小学校区において、新拠点施設の在り方について地域と協議を行い、(仮称)南地区交流センターの基本設計等を行った。		 いたみ交流センター 敷地面積：781.97㎡ 延床面積：995.63㎡

大綱4 市民力・にぎわい・活力

411070

市民まちづくりプラザ事業

まちづくり推進課

【事業概要・成果】

指定管理者である特定非営利活動法人シンフォニーが管理運営を行い、様々な講座や相談等を通じて市民活動を多方面から支援し、参画と協働によるまちづくりを推進した。

特に、「まちプラ交流カフェ」や「まちプラフリースペース」の開催により、団体同士の交流や情報交換の促進を図ったほか、地域活動のデジタル化と情報発信を推進する講座の開催など、市民活動団体等のニーズに対応した支援を行った。

市民まちづくりプラザ運営実績

年度	開館日数	来館者数	活動相談件数	講座等開催件数	講座参加者数	新規登録件数
R4	308日	1,138人	125件	68件	697人	17件
R5	308日	1,127人	92件	63件	785人	13件
R6	307日	1,620人	211件	67件	870人	16件

421	都市ブランド戦略の推進	
421023	シティプロモーション推進事業	広報・シティプロモーション戦略課 / 空港・にぎわい課
【事業概要・成果】 官民連携事業として、市PR冊子の発行とインターネット広告による効果的な情報発信を実施。また、追加制作した市PR動画シリーズや伊丹大使を活用したイベントを通じてシティプロモーション事業を実施した。 日本遺産については、日本遺産のストーリー講座やマリアーージュ体験、市内小学校での出前講座を通じて日本遺産及び「清酒発祥の地伊丹」のPRを行い、認知度向上に繋げた。また、民間事業者と連携したデジタルスタンプラリーを開催し、関連施設への回遊性向上を図り、地域の活性化に寄与した。		
		 ▲【PR冊子 イイ! いたみ】  【日本遺産講座】▶

432	芸術・文化活動の促進			
432010	文化会館管理運営事業	文化振興課		
【事業概要・成果】				
「ドラゴンクエストコンサート」や「よしもとお笑いライブ」など集客効果のある鑑賞型事業に加え、大阪交響楽団によるアウトリーチ事業や次世代を担う子どもの育成事業などを幅広く展開。地域や事業者等と連携した「伊丹オトラク」や市民企画公募事業「いた meets(み〜つ)」など、市民参加の機会を提供し、幅広い文化芸術の振興に寄与した。事業参加者は33,852人、総入館者は168,013人であった。				
文化会館利用実績				
区分		使用件数		
		R4	R5	R6
	大ホール	256	240	256
	〃 楽屋(6室)	937	922	956
	中ホール	331	320	317
	〃 講師控室	148	177	155
	多目的ホール	307	330	320
	〃 講師控室	94	114	99
	会議室(4室)	1,089	1,073	1,092
	和室(3室)	324	313	288
	練習室(3室)	1,581	1,611	1,739
	プレイルーム	237	199	177
	合計	5,304	5,299	5,399
	利用人数計	153,522	151,395	168,013

432020	演劇ホール管理運営事業	文化振興課		
【事業概要・成果】				
中高生演劇部による演劇の祭典「アイフェス!!」や中高生のためのワークショップ、演劇講師を派遣してのアウトリーチ事業など次世代を担う子どもの育成事業を多数実施。ワークショップや講座事業により市民の自由な創造活動を促進し、文化芸術の発展に寄与。事業参加者は4,523人、総入館者は35,156人であった。				
演劇ホール利用実績				
区分		使用件数		
		R4	R5	R6
イベントホール		175	159	169
カルチャールームA		1,076	1,171	1,157
カルチャールームB		518	495	507
合計		1,769	1,825	1,833
利用人数計		35,464	34,518	35,156

大綱4 市民力・にぎわい・活力

432030	音楽ホール管理運営事業	文化振興課		
【事業概要・成果】				
世界各国の音楽を紹介する「地球音楽プログラム」公演をはじめ、気軽に音楽文化や多彩な楽器に親しむ「文化サロン」や「音楽教室」を実施。また、伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団や伊丹市民オペラなど、市民団体との連携事業に取り組み、音楽を身近に感じる「市民のための音楽広場」を目指した事業を展開した。事業参加者は12,345人、総入館者は89,645人であった。				
音楽ホール利用実績				
区分	使用件数			
	R4	R5	R6	
メインホール	328	329	317	
小ホール1	347	333	344	
小ホール2	552	541	520	
練習室(3室)	3,184	3,832	4,103	
合計	4,411	5,035	5,284	
利用人数計	82,421	92,579	89,645	

432050	伊丹ミュージアム管理運営事業	文化振興課	
【事業概要・成果】			
京都在住の画家junaida(ジュナイダ)による初の大規模個展をはじめ、日本のホラー漫画界を牽引し国内外で人気の高い鬼才・伊藤潤二の初の大規模個展巡回展を開催。文化財建物を活用して、市内事業者、福祉施設、市内高校生等との連携による「郷町〇(まる)店」や「鳴く虫と郷町」を実施し、中心市街地のにぎわい創出に寄与。展示事業の観覧者を含む事業参加者は147,399人、総入館者は172,944人であった。			
伊丹ミュージアム利用実績			
項目	R 4	R 5	R 6
旧岡田家住宅・酒蔵	83	74	104
旧石橋家住宅	99	141	219
貸室 計(件)	182	215	323
文化財利用人数*	93,888	70,948	90,234
展覧会観覧者	131,350	58,336	82,710
利用人数計(人)	225,238	129,284	172,944
*貸室利用、見学者、クラフトショップ来店者等の延べ人数			

432060	文化・スポーツ財団運営補助事業	文化振興課
【事業概要・成果】 (公財)いたみ文化・スポーツ財団第4次経営計画に基づき、多彩で魅力ある事業を実施し、本市における文化芸術、生涯学習、自然科学、スポーツ施策の推進を図った。施設間連携による事業展開にも継続的に取り組んだほか、市民や周辺店舗等との協働・連携による「鳴く虫と郷町」や「伊丹オトラク」を開催する等、中心市街地の活性化と市民の文化芸術活動の促進を通じて、地域社会の発展と心豊かな市民生活の形成に寄与した。		
		
		「伊丹オトラク」

432082	文化施設整備保全事業	文化振興課
【事業概要・成果】 経年劣化が進む文化施設の設備に対して、安全で快適な利用環境を維持するため、設備の修繕や更新を計画的に実施。利用者の満足度の向上を図った。		
【文化会館】 舞台音響設備更新工事 25,498千円 その他修繕 2,493千円		
【音楽ホール】 グランドピアノ修繕 1,683千円		

大綱4 市民力・にぎわい・活力

432090	芸術文化振興事業	文化振興課
【事業概要・成果】 本市の文化芸術の振興に関する基本的な方向性を定め、心豊かな市民生活の実現と市民が誇りと愛着を持てるまちづくりを目指し、令和5年度に実施した市民意識調査等を基礎資料として、伊丹市文化振興ビジョン(R7年度～R18年度)を策定した。 ＜主な取組＞ ・伊丹市文化振興ビジョン策定懇話会（R5年度～R6年度 全5回） ・市民ワークショップ(R6年度 全2回)		
 2025-2036 伊丹市文化振興ビジョン 出会いと対話と文化振興と。 なにかが起ころ、わたしのまち 2025-2036 伊丹市文化振興ビジョン		

441	商店街の活性化	
441010	商店街等活性化事業	商工労働課
【事業概要・成果】		
市内の商店街等が組織として実施する商業活性化事業(イベントなど)の経費の一部を補助する。		
令和6年度は、補助事業の利用促進を図るとともに、賑わいの創出と店舗間のコミュニケーション向上につなげた。		
(11商店街等イベント実施件数17件)		
	商店街等名称	事業名
伊丹酒蔵通り協議会		まち灯りと鳴く虫
		冬のまち灯り
伊丹郷町商業会		鳥獣図作成
		屋台村
伊丹西台商店会		はたら子
		西台流しそうめん大会
伊丹阪急駅東商店会		西台さくら祭り
		おかえりビールリリース告知
桜台商店会		ガラボン抽選会
		フリーマーケット
アリオ名店会		秋のフリーマーケット
		鳥獣図作成
伊丹ショッピングデパート		オータムフェア
		みどりの会
鴻池商工会		スポンセンさくらまつり
		ポントン名店会
宮ノ前商店会		ガラボン抽選会
		大相撲秀ノ山部屋歓迎イベント
リータ商店街		夏の抽選会

442	中小企業等の起業・経営支援																														
442011	創業支援事業	商工労働課																													
【事業概要・成果】		【セミナー参加状況】																													
・市内における創業者の輩出。 ・経営者の意識改革や経営革新につながる機会の提供。 ・経営革新セミナーやコミュニティビジネス創業セミナー、女性に特化した創業支援講座の開催。		<table><tr><td></td><td colspan="3">参加人数</td></tr><tr><td>セミナー名</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>女性創業塾</td><td>44</td><td>42</td><td>42</td></tr><tr><td>経営革新セミナー</td><td>51</td><td>102</td><td>86</td></tr><tr><td>コミュニティビジネス創業セミナー</td><td>35</td><td>47</td><td>26</td></tr><tr><td>創業塾(※)</td><td>17</td><td>18</td><td>17</td></tr><tr><td>総計</td><td>147</td><td>209</td><td>171</td></tr></table>			参加人数			セミナー名	R4	R5	R6	女性創業塾	44	42	42	経営革新セミナー	51	102	86	コミュニティビジネス創業セミナー	35	47	26	創業塾(※)	17	18	17	総計	147	209	171
	参加人数																														
セミナー名	R4	R5	R6																												
女性創業塾	44	42	42																												
経営革新セミナー	51	102	86																												
コミュニティビジネス創業セミナー	35	47	26																												
創業塾(※)	17	18	17																												
総計	147	209	171																												
【セミナー参加状況】		※伊丹商工会議所主管事業																													
セミナー開催7件 参加人数171人		【創業支援補助金 申請件数】																													
【創業支援補助金 申請件数】		<table><tr><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>18件</td><td>22件</td><td>23件</td></tr></table>		R4	R5	R6	18件	22件	23件																						
R4	R5	R6																													
18件	22件	23件																													
23件																															

442020

中小企業振興融資制度

商工労働課

【事業概要・成果】

・中小企業者への各種融資

市内の中小企業が必要とする資金を円滑に供給。令和6年度は、実行件数33件・実行総額220,600千円となった。県の融資制度の利率が市の融資より有利なことから実績は伸び悩んだ。

令和5年度に引き続き、業績の悪化等で売上高が減少するなど経営に支障が生じている中小企業者に対し、セーフティネット保証融資に必要な中小企業信用保険法に基づく認定事務を行い、融資までの手続きの短縮のため、即日で認定書を交付した。

【各種融資件数】（金額単位：千円）

R4	R5	R6
66件	35件	33件
460,900	175,500	220,600

【認定書交付件数】

認定申請	R4	R5	R6
セーフティ4号認定コロナ	149件	199件	61件
セーフティ5号(イ)認定	69件	111件	50件

大綱4 市民力・にぎわい・活力

443	地域産業の振興と企業活動支援							
443020	産業振興センター管理運営事業	商工労働課						
【事業概要・成果】								
本市の産業振興の推進を図るため、指定管理者である伊丹商工会議所の専門性を活かした相談事業（経営相談等）や、経営の安定化やネットワークの構築を目的としたセミナーや交流会等を実施し、市内事業者を支援した（令和4年度はワクチン接種会場として使用しており、その人数を含む）。								
【センター利用状況】		（単位：人）						
年度	会議室 （3室）	相談室 （2室）	端末操作等（貸出含む）	マルチメディア ホール	来館者数 （小計）	セミナー（自会場 ／オンライン）	セミナー（他会場 ／オンライン含）	合計
R4	18,486	833	70	25,281	44,670	8	177	44,855
R5	10,034	428	108	21,746	32,316		57	32,373
R6	9,730	467	70	22,342	32,609		51	32,660

443051	企業立地支援事業	商工労働課		
【事業概要・成果】				
製造業を中心とした工業系事業所の立地を促進するために、平成21年1月に伊丹市企業立地支援制度の運用を開始した。平成29年6月に制度を見直し、認定要件の緩和や補助メニューの拡充等を行いつつ、一定要件のもと事業所を新設・増設・移設、賃借等する事業者等に対して奨励金等の支援を行っている。				
令和6年度は、既存認定企業への補助を適切に実施し、制度利用に繋がるよう積極的な制度周知に取り組み、新たに3件認定した。				
	年度	R4	R5	R6
	企業立地計画 認定件数	1件	2件	3件

451	都市農業の基盤強化	
451010	都市農業振興推進事業	農業政策課
【事業概要・成果】 ・農産物品評会ならびに都市農業推進大会を開催し、都市農業における農産物の品質向上に取り組むとともに、持続可能な農業経営について考える機会とした。 【農産物品評会】 日時：令和6年12月4日（水） 8時00分～ 会場：伊丹市公設市場 【都市農業推進大会】 日時：令和6年12月18日（水） 13時30分～ 会場：伊丹市役所 ・今後の本市農業の担う認定農業者については、引き続き、制度の周知を図り、令和6年度末現在で4名の市内農業者を認定農業者として認定している。		

451020	農地利用促進事業	農業政策課																																										
【事業概要・成果】 農地活用の推進を目的として、民間の市民農園開設のための協定締結を1件（継続更新1件）、都市農地賃借法に基づく農地賃借のための事業計画の認定を18件（新規認定12件、継続更新6件）実施した。																																												
<table><tr><th colspan="4">【民間開設の市民農園】（令和7年3月31日現在）</th><th colspan="3">【事業計画認定による賃借】（令和7年3月31日現在）</th></tr><tr><th>年度</th><th>園数</th><th>区画数</th><th>面積（㎡）</th><th>年度</th><th>件数</th><th>面積（㎡）</th></tr><tr><td>R4</td><td>17</td><td>404</td><td>10,587</td><td>R4</td><td>19</td><td>21,647</td></tr><tr><td>R5</td><td>17</td><td>420</td><td>11,242</td><td>R5</td><td>21</td><td>22,830</td></tr><tr><td>R6</td><td>16</td><td>397</td><td>10,500</td><td>R6</td><td>26</td><td>25,636</td></tr><tr><td colspan="4">(福祉農園含まない)</td><td colspan="3"></td></tr></table>			【民間開設の市民農園】（令和7年3月31日現在）				【事業計画認定による賃借】（令和7年3月31日現在）			年度	園数	区画数	面積（㎡）	年度	件数	面積（㎡）	R4	17	404	10,587	R4	19	21,647	R5	17	420	11,242	R5	21	22,830	R6	16	397	10,500	R6	26	25,636	(福祉農園含まない)						
【民間開設の市民農園】（令和7年3月31日現在）				【事業計画認定による賃借】（令和7年3月31日現在）																																								
年度	園数	区画数	面積（㎡）	年度	件数	面積（㎡）																																						
R4	17	404	10,587	R4	19	21,647																																						
R5	17	420	11,242	R5	21	22,830																																						
R6	16	397	10,500	R6	26	25,636																																						
(福祉農園含まない)																																												

大綱4 市民力・にぎわい・活力

451060

農地機能発揮事業

農業政策課

【事業概要・成果】

市民が農業体験を通じて農業、食育に対する意識を深めてもらうことを目的に、市家庭菜園運営および観光農園等の支援を行った。

学童が農作業に親しみ、食に関する関心を深めることを目的にPTA、地区農会長等の協力を得て市内2小学校に学童農園を設置した。

防災協力農地登録の登録筆数は、令和5年度より6筆増加した。

【観光農園】

地区	作物	面積(㎡)
東野	サツマイモ	4,620

【防災協力農地登録について】

年度	筆数	登録者数	面積(㎡)
R5	26	12	19,672
R6	32	18	25,538

【学童農園】

学校名	設置場所	面積(㎡)	作物名
南 小学校	御願塚地区	650	ジャガイモ
池尻小学校	池尻地区	1,129	サツマイモ

【市営家庭菜園】

年度	園数	区画数	面積(㎡)
R4	22	778	19,078
R5	22	777	19,078
R6	21	755	18,552

452	農作物の生産・流通の推進		
452010	農業活性化支援事業	農業政策課	
【事業概要・成果】			
市内農業者の農業経営の改善及び活性化を目的とした補助事業を実施し、持続可能な都市農業を推進した。小・中学校給食センター等と連携し、学校給食出荷に対する奨励支援を実施した。			
令和6年度 都市農業活性化推進事業補助金 交付実績			
事業名	補助率	上限	交付決定額
有機農業推進事業【中核農家】	1/2	150,000円	1,540,504円
有機農業推進事業【認定農業者】	1/2	200,000円	225,157円
有機農業推進事業【その他農家】	1/2	100,000円	485,204円
施設園芸振興事業(新設)	1/5	300,000円	673,920円
施設園芸振興事業(維持)	1/5	50,000円	451,055円
中核農家等農機具補助事業(購入)【中核農家】	1/5	100,000円	1,352,433円
環境創造型農業推進事業	1/2	100,000円	289,135円
ブランド化推進事業	1/2	50,000円	628,070円
学校給食出荷奨励事業	40円/kg	-	218,400円
福祉施設委託推進事業	1/5	50,000円	50,000円
合計			5,913,878円

452020	農産物地産地消・販売推進事業	農業政策課												
【事業概要・成果】 小・中学校給食センターおよびJA兵庫六甲と連携し、学校給食に旬の市内産農産物の提供を推進した。 市内で生産された農産物をはじめ、市民の需要に応じた農産物等の販売を促進し、安全・安心な食及びこれを支える農に対する市民の理解を深めるため、公設市場の指定管理者である(株)伊丹公設市場管理センターと連携し、市民への情報発信を強化し、JA兵庫六甲の農産物直売所「スマイル阪神」等への集客を促進した。														
・農産物直売所「スマイル阪神」の年間売上額…894,994千円														
【学校給食へ提供された市内産農産物】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>出荷数量(kg)</th><th>品目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td><td>8,822</td><td>6</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>8,126</td><td>7</td></tr> <tr> <td>R6</td><td>12,360</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>			年度	出荷数量(kg)	品目	R4	8,822	6	R5	8,126	7	R6	12,360	7
年度	出荷数量(kg)	品目												
R4	8,822	6												
R5	8,126	7												
R6	12,360	7												
【農産物直売所「スマイル阪神」】 														

452040	公設市場管理運営事業	農業政策課
【事業概要・成果】 伊丹市公設市場は、平成31年度より利用料金制による指定管理施設(指定管理者(株)伊丹公設市場管理センター)として運営している。 令和5年度に引き続き、公式ホームページ、SNS等での情報発信を図り、公設市場のPR及び活性化につながった。		
・公設市場利用者数…17事業者 ・SNSアクセス…173,327回(フェイスブック:38,697回 インスタグラム:134,630回) ・農産物直売所「スマイル阪神」来場者数 324,818人		
 		

大綱4 市民力・にぎわい・活力

461	就労支援と勤労者福祉の向上		
461010	雇用奨励金支給事業	商工労働課	
【事業概要・成果】			
市内在住の障がい者を常用労働者として雇い入れた市内の事業主に対して奨励金を交付し、障がい者の長期雇用の促進に努めた。			
【障害者雇用奨励金交付状況】			
年度	R4	R5	R6
交付件数(人数)	10件(8名)	9件(6名)	9件(6名)
交付金額	600千円	540千円	540千円

461020	若年者就労支援事業	商工労働課												
【事業概要・成果】 兵庫労働局と締結した雇用対策協定に基づき、ハローワークと連携した就職面接会を2回開催。合計67人の参加があり、4人の雇用を創出した。また、イオンモールと連携した女性向け企業説明会等を開催し、事業所と就労希望者のマッチングに努めた。 市内中小企業の若年者人材確保を目的とした奨学金返済支援事業においては、9件の申請があり、令和4年度・5年度申請分と合わせて36件の支援を実施した。 【奨学金返済支援事業 実施状況】 <table> <tr> <th>年度</th><th>申請件数(件)</th><th>支給額(千円)</th></tr> <tr> <td>R4</td><td>27</td><td>1,484</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>33</td><td>1,782</td></tr> <tr> <td>R6</td><td>36</td><td>1,973</td></tr> </table> ※令和5年度・令和6年度の申請件数は、それぞれ継続申請の件数を含む。			年度	申請件数(件)	支給額(千円)	R4	27	1,484	R5	33	1,782	R6	36	1,973
年度	申請件数(件)	支給額(千円)												
R4	27	1,484												
R5	33	1,782												
R6	36	1,973												

461050	労働相談事業	商工労働課			
【事業概要・成果】 毎月第1、3土曜日の午後、労働福祉会館(スワンホール)で労働問題及び就労に関する相談を実施し、41人(59件)の利用があった。		【労働相談の状況】		(単位:件)	
		相談内容	R4	R5	R6
		賃金	5	9	3
		労働時間・休暇	11	9	1
		退職・解雇	14	20	11
		就業規則	3	7	8
		労働組合(法)関係	0	4	2
		雇用・社会保険等	26	20	19
		労働災害	10	6	2
		就労相談	5	11	5
		ハラスメント	15	23	6
		その他	6	4	2
計		95	113	59	

461060

労働福祉会館管理運営事業

商工労働課

【事業概要・成果】

勤労者福祉の拠点施設として運営してきた労働福祉会館（スワンホール）については、令和元年度の大規模改修工事を経た後、令和2年4月から中央公民館・青少年センター・市民まちづくりプラザとの新たな複合施設として開館した。

令和5年度からは新たな指定管理者のもと、利用人数は増加傾向にあり、昨年度は21万人を超える多くの市民の利用があった。

【施設利用者数の推移】

年度	R4	R5	R6
来館者数(人)	187,588	191,589	212,927



労働福祉会館
(スワンホール)



労働福祉会館
(スワンホール)

471

空港周辺の活性化

471030

伊丹スカイパーク管理運営事業

公園課

【事業概要・成果】

・指定管理者による施設の適切な管理・運営を実施するとともに、ビアガーデンやキッチンカーフェスティバル、わんにゃんマーケットなど来園者が楽しめるイベントを実施したことで、伊丹スカイパークを訪れる来園者に対して高い満足度を維持した。

・目標の750千人には至らなかったものの、年間来園者数は令和5年度より増加した。

年間来園者数

R4	666千人
R5	607千人
R6	623千人



わんにゃんマーケットイベント

471042	伊丹スカイパーク整備保全事業	公園課
【事業概要・成果】 伊丹スカイパーク内にある「つつじの丘」は、広さ約2,500㎡の斜面に伊丹市の市民の花であるツツジを植樹しており、春には丘一面に咲くツツジの花が名所となっている。 【成果】 公園整備から約20年が経過し、一部のツツジが枯れていることから、約2,400本のヒラドツツジの補植を行い、公園利用者がツツジの花を楽しめる良好な景観を再生した。		
		 補植したツツジの開花状況